立地適正化計画について

令和7年度第1回 都市計画審議会

目次

資料 1. 立地適正化計画の概要

- 資料2. 千代田都市計画区域の現況・住民アンケート・基本方針
- 資料3. 居住誘導区域・都市機能誘導区域の検討
- 資料4. 防災指針の検討

1.1 今回の内容・スケジュール

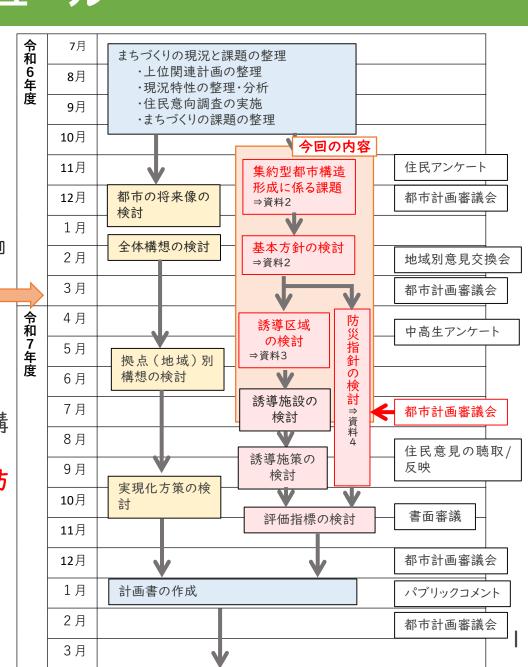
計画作成期間 令和6年度~令和7年度(2か年度)

■令和6年度

- ・北広島町のまちづくりの現況と課題の整理
- ・都市計画マスタープラン『都市の将来像』 『全体構想』の検討
- ・立地適正化計画『基本方針』の検討
- ・地域別意見交換会の実施

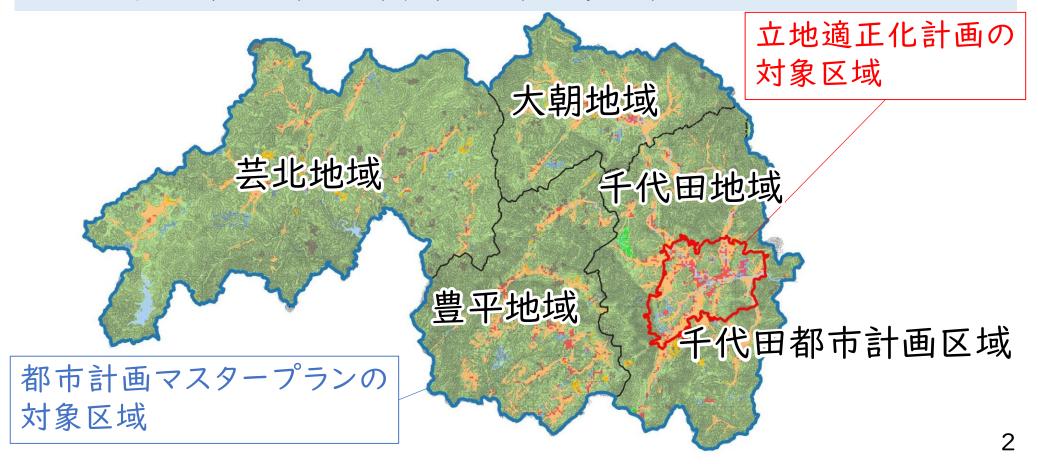
■令和7年度

- ・都市計画マスタープラン『拠点(地域)別構 想』『実現化方策』の検討
- · 立地適正化計画『誘導区域·誘導施設』『防 災指針』『誘導施策』『評価指標』の検討
- ・計画書の作成
- ・パブリックコメント



計画の対象区域

- 都市計画マスタープランは本来都市計画区域を対象とする計画ですが、地域ごとの特色・強みを活かしつつ、町全体の一体的なまちづくりを進めるため、行政区域全域を対象とします。
- 立地適正化計画は、千代田都市計画区域を対象区域とします。



このまま人口減少や少子高齢化が進むと・・・

利用者減少により、スーパーマーケットや病院などの撤退

➡生活サービス施設の撤退



利用者減少により、路線バスの便数の削減や撤退

閉店ばっかりで

まちがさみしいな

→公共交通の減少・廃止

お買い物も不便ね…

人口減少により、空き家の増加や治安悪化 の問題が発生

➡活力の低下やコミュニティの衰退



そうならないために、持続可能なまちにする必要がある!

持続可能なまちってどんなまち?

持続可能なまち(コンパクト・プラス・ネットワーク)とは

☑ コンパクトシティ

⇒人口密度の維持



☑ ネットワーク

⇒利便性の維持・向上



どんな効果があるの??

期待される効果

- ☑ 生活サービス施設・公共交通における利便性や持続可能性の向上
- ☑ 高齢者の福祉・健康の増進
- ☑ 財政の健全性の確保
- ☑ 災害に対する安全性の確保
- ☑ 地域環境への負荷の低減

持続可能なまちにするには、どうすればいい?

拠点の周辺は都市機能施設等を増やし利便性を高める



各拠点を結ぶ公共交通を維持し、 快適な移動環境を構築する

→利便性の高い拠点ともつながる

立地適正化計画を活用する

立地適正化計画の内容は?

立地適正化計画とは

都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住・都市機能の誘導により、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成に向けた取組を推進しようとするもの。

中心拠点や生活拠点が利便性の高い公共交通で結ばれた 「多極ネットワーク型コンパクトシティ」

立地適正化に関する方針

まちづくりの理念や目標、目指すべき都市像や、一定の人口密度の維持や生活サービス機能の計画的配置及び公共交通の充実のための施策を実現する上での基本的な方向性を記載

2 都市機能誘導区域

商業、医療、福祉等の都市機能を都市の中心拠 点や生活拠点に誘導し集約することで各種サー ビスの効率的な提供を図る区域

誘導施設

都市機能誘導区域ごとに、立地を誘導すべき都 市機能誘導機能増進施設(居住者の共同の福祉 や利便性の向上を図るために必要な施設)

3 居住誘導区域

一定のエリアにおいて人口密度を維持すること によって、生活サービスやコミュニティが持続 的に確保されるように居住を誘導する区域

- 4 誘導施策
- 居住を誘導するための施策や都市機能誘導区域 内に都市機能を誘導するための施策を記載

防災指針

居住や都市機能の誘導を図る上で必要となる都市の防災に関する機能の確保を図るための指針を示すとともに、防災指針に基づく取組の推進に関連して必要な事項を記載